

令和6年度スポーツ情報発信事業業務委託に係る  
公募型プロポーザル方式による選定結果について

企画提案書の提出を受け付けた3者について、学識経験者等の意見を聴取する有識者会議による審査を行い、同会議の評価結果を基に、次のとおり受注予定事業者を選定しました。

1 案件名称

令和6年度スポーツ情報発信事業業務委託

契約期間 契約締結日から令和7年3月31日まで

2 選定した受注予定事業者

ママそら・LunaTone 共同企業体（代表構成員：株式会社ママそら）

3 公募期間

令和6年4月26日から令和6年6月5日まで

4 有識者会議による審査の結果

(1) 有識者会議名簿（敬称略）（五十音順）

| 委員氏名  | 役職等                                 |
|-------|-------------------------------------|
| 柏木 浩正 | 江崎グリコ株式会社 健康イノベーション事業本部健康事業マーケティング部 |
| 田村 匡  | 大阪成蹊大学経営学部 教授                       |
| 彦次 佳  | 関西大学人間健康学部 教授                       |

(2) 有識者会議の開催日 令和6年6月20日

(3) 審査基準

| 評価項目                        |                                                                                                   | 配点  |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-----|
| 1. 技術点                      |                                                                                                   |     |
| 事業目的の理解度                    | ・大阪市民の運動・スポーツ実施率の現状分析と課題把握を的確に行えているか。<br>・ターゲットに合ったコンセプトを設定できているか。                                | 10点 |
| 若い世代に向けた取組み                 | ・若い世代の興味を引きつつ運動・スポーツの実施につながる企画となっているか。<br>・若い世代にマッチした SNS フォロワー獲得のための手法を用いているか。                   | 40点 |
| これまで運動・スポーツを実施していない層に向けた取組み | ・これまで運動・スポーツを実施していない層が自身の運動不足や体力低下を実感でき、運動のきっかけづくりとなるような企画となっているか。<br>・上記企画に参加したくなるような仕掛けを用いているか。 | 25点 |
| より効果的な情報発信                  | ・受注者の持つノウハウを活用した情報発信補助や、業務目的を踏まえた、より効果的な新たな取組みを提案しているか。                                           | 10点 |
| 実施運営体制、スケジュール               | ・本業務を確実に遂行できる組織体制、スケジュールとなっているか。                                                                  | 10点 |

|                   |  |      |
|-------------------|--|------|
| 2. 価格点            |  |      |
| 費用積算の妥当性など        |  | 5 点  |
| 合 計（有識者委員 1 名あたり） |  | 100点 |

(4) 審査を行った事業者（五十音順）

株式会社トライアウト

ママそら・LunaTone共同企業体

代表構成員：株式会社ママそら

構 成 員 1：LunaTone 合同会社

株式会社ランド

全 3 者

(5) 審査結果（有識者委員の評価点の合計）（合計点の高い順）

| 評価項目                        |                                                                                                   | 提案者 A | 提案者 B | 提案者 C |
|-----------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|-------|
| 1. 技術点                      |                                                                                                   |       |       |       |
| 事業目的の理解度                    | ・大阪市民の運動・スポーツ実施率の現状分析と課題把握を的確に行えているか。<br>・ターゲットに合ったコンセプトを設定できているか。                                | 22点   | 23点   | 21点   |
| 若い世代に向けた取組み                 | ・若い世代の興味を引きつつ運動・スポーツの実施につながる企画となっているか。<br>・若い世代にマッチした SNS フォロワー獲得のための手法を用いているか。                   | 93点   | 79点   | 65点   |
| これまで運動・スポーツを実施していない層に向けた取組み | ・これまで運動・スポーツを実施していない層が自身の運動不足や体力低下を実感でき、運動のきっかけづくりとなるような企画となっているか。<br>・上記企画に参加したくなるような仕掛けを用いているか。 | 58点   | 45点   | 45点   |
| より効果的な情報発信                  | ・受注者の持つノウハウを活用した情報発信補助や、業務目的を踏まえた、より効果的な新たな取組みを提案しているか。                                           | 23点   | 19点   | 18点   |
| 実施運営体制、スケジュール               | ・本業務を確実に遂行できる組織体制、スケジュールとなっているか。                                                                  | 17点   | 20点   | 16点   |
| 2. 価格点                      |                                                                                                   |       |       |       |
| 費用積算の妥当性など                  |                                                                                                   | 9点    | 11点   | 12点   |
| 合 計                         |                                                                                                   | 222点  | 197点  | 177点  |